

認定こども園

遊んで学ぶ 学んで育つ  
～小さな冒険はじめよう～

帯広の森幼稚園



園長便り

令和2年度 No.2 [2020年4月28日発行]

園長：今野隆雄

## 『本物の豊かさとは…何か？』

大好きなお父さんやお母さんと同じ景色を見ながら  
周囲の変化に気付く“心の深さ”こそ重要！

### [知識の豊富さより喜びの体験を…]

ある先生が通勤途中に見つけた“たんぼぼ”の花を子ども達に見せようと思い、園児の前に出たところ「その花は“たんぼぼ”という名前で、昔から日本にあったんだ。図鑑で見たことがあるよ。でもそれは日本のたんぼぼじゃなくて外来種。葉草として使うんだ。」という言葉が返ってきたそうです。

知識として知っているということは確かに意味があり、知らないよりは知っていて損をすることはないと誰もが考えがちですが、知っていることだけで終わってしまえば、その子にとって意味のあるものにはなりません。その子に「自分はどう感じたのか」というような、“私”との関わりの言葉が一つもなかったことが気になります。

お母さんと一緒に手を繋いで見た花。名前を知らなくても昨日までは無かった場所に咲いていた花。“私”との関わりの中で、周りの事象のちょっとしたことに気付き、自分の心の動きと共に、その内容を語れるようになることが、幼児にとって一番大切です。

何気なく見ていた景色に変化があって、その移り変わりを大好きなお父さんやお母さんと共有し、同じ景色を見ながら一緒に語ることができるのは、子どもにとって大きな喜びです。そのような体験を通じて、子どもは新しい事象を見つけようとし、見つけることを楽しんと感じるようになります。

“学ぶ”ということは、常に新しい事象を自分の中に取り入れようとする能動的な心からしか生まれてこないのです。

### [子どもに感じたことをつぶやこう]

物を多く持っていることが豊かさの象徴で、多くの知識を持っていることが賢さの象徴であった時代はもう終わりに近づいているのではないのでしょうか？多くのことを知っているよりも、自分の知っていることを使って未知の領域に踏み込んで、自分なりの世界観を持って行動できるようになることの方がこれからの時代は重要な意味を持っていると思います。

ちょっとしたことに気付き、心を動かすことができる“心の深さ”が大切な時代になっているのです。この“心の深さ”を子どもが獲得するためには、“私”が一番好きな“親”と同じ景色を見ながら、ちょっとした変化に気付く時間が重要です。

家を出た時の気温や清々しさなど、子どもに向かってというよりは、自分の感じたことをつぶやいてあげてください。時間に余裕がある時だけで結構ですから・・・。

〈全日私幼連 PTALしんぶんより〉



# 今週の出来事

## 【ぱちぱちルーム】開級式…4月15日（水）

4月15日（水）、未就園児教室「ぱちぱちルーム」の活動がスタートしました。担当の先生は高山朋世（たかやまともよ）先生と蛭名 円（えびな まどか）先生です。「ぱちぱちルームはどんなところなんだろう?」「どんな先生がいるのかな?」「どんなことするんだろう?」と緊張と不安が入りまじった登園風景でした。ホールではカバンやジャンパーを掛ける場所をお母さんと見つけ、トイレはどんなところだろう?と探検をして、微笑みも見られ少しだけ緊張がほぐれたようです。

開級式が始まると、先生と一緒に「アンパンマンの手遊び」をし、朝の唄もニコニコ(\*~\*)と先生の真似をしながら歌い、朝のご挨拶もとっても上手にできました。更に先生達の「バナナの親子」のペープサートが始まると、真剣に目を輝かせて、一緒に手をたたいて笑顔で出し物を見ていました。

おやつの時間になると『やったあ〜!』と両手を上げて大喜び!!!りんごジュースとハッピーターン2つともベロッと食べました。おやつ後はすっかり心も体も解れ、幼稚園にとけ込んで、お母さんから離れ「アンパンマン体操」を踊って見せてくれる子も現れました。「来週もまた来てね」と先生と“ハイタッチ”をして満面の笑顔で親子共々幼稚園を跡に降園していきました。

ぱちぱちルームは、年間30回子ども達も保護者の皆さんにも、喜んで楽しんでもらえる活動内容にしていきたいと思っています。そして、30回の活動を終えたら幼稚園へスムーズに入園できるように、年間活動計画を充実し『人生のスタートにこそ“良質の教育と保育”を・・・』を目指していきます。皆様のご支援・ご協力をお願い致します。



## 【まなびば】体験会…4月14日（火）



4月14日（火）、小1準備コース「まなびば」体験会を行い、今年度の体験会には22名の年長さんが参加してくれました。

幼稚園には通い慣れていないはずの年長さんも、いつもと少し違う様子にちょっとだけ戸惑う姿もありましたが、いざ始まると格好良く椅子に座って授業を受けていました。さすが年長さんです!(^)!

「まなびば」は年間36回の授業で“ことば・かず・くふう”3つを柱に、スムーズに小学校の学びへとつなげていきます。考える楽しさを知り、期待と自信をもって小学校へ進んでいけるよう取り組んでいきますので、宜しくお願い致します。

## = 自己紹介 =

申し遅れましたが、4月1日より本園に勤務しております、園長の今野隆雄（この たかお）です。以前、5年間園長としてお世話になり、縁あって今回又再来の機会を頂き、大変有難く感謝申し上げます。

本園は言うまでもなく、2015年（平成27年）に国の政策としての「子ども子育て支援制度改革」の先頭に立ち、認定こども園に運営移管し、更に音更町の保育園・保育所の運営移管委託を行い、名実共に十勝・帯広の「幼児教育」の先駆者・パイオニアとしての役割・使命・責任を果たしてきました。

その学園に籍を置く責任の重さと、一人一人の子ども達と向き合っ、子ども達と共に将来を築き上げていく喜びを感じているところです。どうか、父母の皆様、保護者の皆様の絶大なるご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

